

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・近隣に大手スーパーが1月中旬にオープンしたことで、商店街の通行量が増えている。さらに、新規客の獲得にもつながっているほか、顧客の流出防止イベントやクーポン配布の効果により、売上が前年比で10%以上伸びている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・エコカー補助金が終了した3か月前よりも、来客数、販売量共に増えてきている。
	やや良く なっている	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・気温の変化によって売れる商品も変わるが、客の購買意欲は強く、何かを買って帰ろうという意識がある。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・今月に入って高級婦人服の受注が例年以上に多くみられるほか、50万円前後の時計や宝飾品を得意客に提案することで、受注につながるケースが増えている。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・アクセサリーの売上では自家需要の比率が上がっているなど、これまでの買い控え傾向からは変化がみられる。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・前月に比べて、今月は来客数、販売点数が増えている。
		百貨店（婦人服）	販売量の動き	・春物商材の動きは本格的ではないものの、月半ばまでは冬物の最終セールでにぎわったほか、バレンタインギフトも比較的好調に推移したため、月全体ではまずまずの状況となっている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・特価品ではなく、定価品の売上が前年よりも堅調に推移している。特に、高額品ではなく量販品の堅調な動きが続いているほか、トレンド商品を中心に必需品以外の動きが良い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・気温の低下で季節商材の売行きが良くなっている。特に、衣料品の来客数が徐々に前年比8%増となっており、婦人関連の機能性下着や洋品関係の売行きが良い。食品も野菜の相場高で朝市での価格訴求力が高まっており、来客数が10%増となっている。
		スーパー（社員）	単価の動き	・年末以降、店頭価格が上昇傾向に変化している。厳しい寒さで冬物食材の動きが良かったこともあり、売上の回復する店舗が多くなっている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客単価に大きな変動はないが、来客数が前年比で伸びており、売上増につながっている。
		コンビニ（広告担当）	単価の動き	・オリジナル商品の好調や、キャンペーンやポイントカードによる販促で、主に客単価が伸びている。ただし、来客数の伸びが少ないため、景気については依然として厳しい。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・リニューアルオープンに伴い来客数が伸びている。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・3か月前に比べると販売量は少ないものの、3月のエコポイント制度終了を前に、地上デジタル放送対応テレビへの購入意欲が高まり、動きが活発化している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・1月は店舗当たりの来客数が32.4人であったのが、2月は47.8人と増えている。来客数に対する販売台数も、1月は43.5%で、2月は52%となっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了後は低調な推移となっていたが、今月に入って売上が徐々に前年比で90%を超えている。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・少し高額な商品の説明も聞いてみたいという客が増えるなど、購入意欲を持った客がやや増えている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	それ以外	・今月は決算月であり、チラシやダイレクトメールなどで販促を強化した結果が出たほか、月前半の厳しい寒さでカイロや風邪薬の販売が伸びている。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・前月よりも高価なメニューをオーダーする客が増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・以前から週の後半に来客数が増える傾向はあったが、週の始めや天候の良くない日でも、客の動きが堅調になりつつある。
		一般レストラン（店員）	来客数の動き	・今年に入って当チェーンへの注目度が高まっているため、非常に忙しくなっている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・わずかであるが客単価が上がってきている。
パチンコ店（店員）	来客数の動き	・来客数が伸びている。		

	競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は11,012円と、3か月前の10,619円よりもやや高くなっている。ただし、年末年始からみると低下しており、楽観はできない。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・ハウスメーカーのモデルハウスでは来客数が増えているなど、建築用地の需要が高まってきた感がある。
	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・マンションのモデルルームへの来場者数は増加傾向にある。不動産会社も新規発売物件を増やし始めるなど、市況の回復感が一部で始まっている。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・人出が天候に左右されるほか、客足の引きが相変わらず早い。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・2月は年間でも売上の悪い時期であるが、観光客の減少もあって販売量が落ち込んでいる。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・先行きの不透明感により、客の財布のひもがかなり固くなっている。購入するのは必要最小限で、しかも価格の安い商品であるため、客単価が極端に下がっている。年配客からは、年金の天引き額が徐々に増えているため、考えて買物しなければ生活が厳しくなるといった声が聞かれる。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	来客数の動き	・来客数や通行客数、駐車場の稼働率など、すべて悪化したまま回復しない。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	来客数の動き	・月初は来客数が落ち込んでいたものの、後半は次第に良くなっている。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・商品が冬物から春物へ移行する時期であるが、最近では必要な物しか買わない客が多く、季節の変わり目のこの時期は購入意欲がより一層弱くなる。さらに、当地域は零細企業が多いため、客からは景気への不安感が大きいといった声が多く聞かれる。
	一般小売店〔菓子〕（経営者）	来客数の動き	・厳しい寒さにより、客はスイーツなどのし好品を買うための外出を控えている感がある。
	一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・飲食関係の客が非常に厳しい状態であり、当店の売上にも響いている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・客の間で目的買いの傾向が強まっており、まとめ買いや大口購入がみられないほか、高額品の販売量も少ない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・紳士関連の売上は依然として前年を下回っているものの、婦人衣料は前年を上回る動きが続いており、客単価も約5%伸びている。ファッション性が高く、機能性も高い春物衣料の動きも良い。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・月初は厳冬と雪の影響もあってセール品の動きが悪かった。月後半は4月並みの陽気となったため、春物商材が動き始めたものの、販売量自体はそれほど多くない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月はバーゲン品の売行きが好調である一方、春物の定価品の動きが鈍い。客の需要は低価格品から高付加価値品へと変わりつつあるが、ファッション関連では不要不急の商品の購入は依然として少ない。
	百貨店（企画担当）	単価の動き	・今月は来客数が増えたにもかかわらず、客単価の低下で売上は横ばいとなっている。
	百貨店（販促担当）	販売量の動き	・来客数の動きが不安定で、客単価も前年割れが続いている。気温にも大きく左右されるなど、客の購買行動には力強さが欠けている。
	百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・前月に続いて前年並みの実績となっており、景気の底によりようやく達した感がある。来客数も増加傾向にあり、バレンタインデー商材も好調に動いている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・気温の低下した前月は季節商材が好調に動いたため、今月はその反動減が出ている。客単価は前年並みとなったものの、来客数は前年比で90%と大幅に減少している。
スーパー（店長）	お客様の様子	・今月に平城遷都1300年記念のプレミアム付き商品券が発売されるなど、消費へのプラス要素もあったが、大きく改善した感はない。	
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は戻りつつあるものの、買上点数が伸びず、客単価の低下につながっている。	
スーパー（店長）	来客数の動き	・地域全体で大小規模の店舗を含めたオーバーストアとなっており、来客数は前年比で恒常的に減少している。売上は商品によってばらつきがあり、衣料品は比較的良い一方、食品では安売り合戦が続いている。	
スーパー（経理担当）	お客様の様子	・客の節約意識は依然として高く、特別な販促を実施した場合の反応が良くなっている。ただし、その前後には若干の買い控え傾向がみられる。	

スーパー（広報担当）	販売量の動き	・前月は冷え込みが厳しく、衣食住を問わず冬物商材を中心に好調に推移したが、今月は花粉関連商材など一部に好調な商品はあるものの、全体を押し上げる力強さには欠ける。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・競合店との価格競争により、他店よりも少しでも安くする方針が強くなっている。来客数や販売量が前年並みであっても、1品単価が下がっているため、客単価は前年を下回っている。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・来客数は前年とほぼ同じであるが、購入点数が減少している。
スーパー（企画）	お客様の様子	・悪化もしていないが、良くなる要素もない。政治の混迷により、将来への不安がぬぐえない状態が続いている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・おにぎりや弁当、飲料などの全カテゴリーで、単価の安い商品へ売上がシフトする傾向が続いており、客単価は低水準のまま推移している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・消費者はたばこの値上げに慣れたようで、来客数、販売量共に、ここ数か月は安定している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は寒い日が多く、来客数が減っている。月末にかけて暖かくなったものの、客は何を着てよいか分からないため服を買わない。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・客が買い控えており、購入単価を抑える傾向がみられる。
家電量販店（店員）	お客様の様子	・客の購買意欲が乏しいため、販売につながらない。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・今月初旬から、客の間では3月の決算を先取りする動きが始まっている。その結果、新車、中古車共に若干であるが活気が出てきている。
住関連専門店（店員）	販売量の動き	・既存店の売上は前年を下回ったが、新店舗を含めた売上は前年を上回るなど、客の購買意欲は悪くない。
その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・国内の政治の不安定さに加え、中東や北アフリカの政情不安で客の心理がますます不安定になっており、宝飾品の購買意欲の低下につながっている。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・例年よりも良い部分と悪い部分があり、結果として例年並みの販売量となっている。
その他専門店【宝飾品】（販売担当）	来客数の動き	・展示会への来客数が伸びない。
その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・販売量は横ばいであるが、厳冬で冬物商材の消化が非常に良いほか、春物の店頭展開も順調である。ただし、中東情勢の混乱などによる原油価格の上昇もあり、消費マインドはまだまだ上向いていない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は子ども手当や年金の振込などでお金が入る月であり、前月よりも昼間の来客数は多かったが、夜の来客数が伸びておらず、全体としては変わらない。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・久しぶりの外食で利用する場合は客単価が上昇する一方、平日の日常的な利用の場合は追加のオーダーも出にくい。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前年にテレビで取り上げられた効果が続いており、今まで来店したことがない、あるいは足が遠のいていた客の来店が増えている。景気全体が良くなっているわけではないものの、消費者の間には少額の支出を増やす力はある。
観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・宿泊単価を下げたことで来客数は増えているが、販売量の確保は厳しい。特に飲料売上や売店売上は、来客数が増加しているにもかかわらず減少気味である。
観光型旅館（経営者）	それ以外	・前月の雪の影響で今月は客足が出遅れている。月後半にかなり盛り返したものの、あと一歩取り戻せていない。
観光型旅館（団体役員）	単価の動き	・売上等は前年比でやや微増となっているが、客単価は依然として低いなど、客の財布のひもは固い。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・まだ宿泊では価格を上げられる状態ではないものの、低価格競争に底打ち感が出てきている。食堂や宴会も前年並みの推移となっており、厳しい状況ではあるものの底打ち感がある。
都市型ホテル（マネージャー）	来客数の動き	・宿泊部門ではビジネス客の減少が目立っており、経費削減で出張を控えているほか、旅費を減額している企業が多い。宴会やレストラン部門も前年並みを維持しているものの、目標には届いていない。

	旅行代理店（店長）	来客数の動き	・来客数の動きは前年並みとなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・従来のように路上でタクシーを止める客がない。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・客からは、今年に入って急激に悪くなってきたとの声が聞かれる。
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・年度末を控えて携帯電話各社が顧客獲得に動いているほか、スマートフォンによって市場が刺激されている。ただし、在庫不足で販売機会を逃す場面も多い。
	競輪場（職員）	来客数の動き	・購入単価がますます落ち込んでいるほか、来客数も減少しており、相当厳しい状況となっている。
	その他レジャー施設 [ イベントホール ]（職員）	来客数の動き	・人気タレントのコンサートチケットは相変わらず完売の状況であるが、物販や展示会の集客数、売上は横ばいで推移している。
	その他レジャー施設 [ 飲食・物販系滞在型施設 ]（企画担当）	お客様の様子	・寒い冬には、冬のレジャーが活発になるはずであるが、客が外出を控えている感もあって手ごたえが弱い。
	美容室（店長）	来客数の動き	・固定客の高齢化で客の動きが鈍くなっているほか、周辺に競合店が多数出店し、競争が激しくなっている。
	その他サービス [ 学習塾 ]（経営者）	来客数の動き	・全体的な状況に変化はないものの、今月の無料体験キャンペーンへの参加者による受講の申込が、例年よりも若干多い。
	その他サービス [ ビデオ・CD レンタル ]（エリア担当）	販売量の動き	・レンタル及び書籍売上が前年を上回っているものの、前年が悪過ぎたこともあって判断は難しい。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・依然として新規問い合わせの低迷が続いている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・神戸市のある地区ではマンションが大量に供給され、販売が苦戦している物件が多い一方、別の区では販売戸数が少なく、好調に売れている。
	住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・贈与税、相続税関連の税制改正を見越した動きがまだ市場に出てきていない。
	その他住宅 [ 展示場 ]（従業員）	来客数の動き	・今月は天候が悪かったものの、住宅展示場への来場組数は前年と変わらない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・例年は入学関係の商品が動く時期であるが、兄弟のお下がりを利用する人が増えるなど、売上が伸びていない。また、一般商品の動きも鈍い。
	一般小売店 [ 鮮魚 ]（営業担当）	来客数の動き	・厳しい寒さにより、例年に比べると客足が鈍い。
	一般小売店 [ 精肉 ]（管理担当）	販売量の動き	・年末から前月の初旬までは単価、販売量が若干上向いたものの、前月の中旬以降は非常に厳しい状況である。今月は春節で外国人観光客にも期待されたが、観光客の来店は増えた一方、競争の激化で取り込みが難しい状況になっている。
	一般小売店 [ 家具 ]（経営者）	販売量の動き	・客は必要な物以外を買うことはなく、客単価が下がっている。
	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・春らしい陽気があまり感じられず、春物商材の動きが非常に鈍い。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・前月までは商品に値打ちがあれば売れていたが、今月は価格を気にする客が増えている。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・1品単価が前年比で89.5%、客単価が87.6%、客1人当たりの買上点数が97.6%となっている。エコポイント制度の縮小前と比較し、明らかに大型商品の需要が減っており、1品単価の低下が目立っている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金のあった当時と比べると、本当に新車の販売が激減している。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は若干増えているものの、購入が低額商品に集中するため、売上は下降線をたどっている。
	一般レストラン（経理担当）	お客様の様子	・年末年始の日並びが良くなかったほか、悪天候の影響から近場で過ごした人が多く、正月は好調となったが、その後は降雪の影響もあってディナー需要は落ち込んでいる。ランチ需要はほぼ前年並みとなっている。

	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・今月に入っても3連休に降雪があり、客足に影響が出たほか、ガソリン価格の値上がりや生鮮食品、穀物価格の高騰による出控えの傾向もみられる。	
	都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・天候不順や寒さ、インフルエンザの流行などで外出する人が減少している。	
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・海外旅行の予約は前年を上回っているものの、売上に占める割合の高い国内旅行に勢いが無い。	
	旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークや夏休みの先行予約の動きが止まりつつある。企業業績の好調や景気回復が報じられているものの、一般の社員まではその意識が浸透していない。特に関西は中小企業が多いためにその傾向が強く、客の間では中東の民主化運動に伴う混迷や、ニュージーランドでの地震などで不安感も強まっている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は客の動きが悪く、特に夜間の動きが悪くなっている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年2月は厳しい状態となるが、特に今年は一歩いい。かなり苦労して何とか目標を達成できている。	
	タクシー運転手	競争相手の様子	・街の人通りが少ない。	
	通信会社（社員）	販売量の動き	・契約数は前年比で伸びているが、単価の低下で売上全体は前年並みとなっている。全体としては悪化傾向となっている感がある。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・営業を継続したままで、施設のリニューアル工事が本格的に始まったため、客の入れないエリアが多くなっている。	
	美容室（店員）	来客数の動き	・来店周期の伸びている客が増えている。	
悪くなっている	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	それ以外	・原料価格の高騰分を販売価格に転嫁できていない。	
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・政治への不安で、消費者の将来に対する不安感が高まっている。財布のひもも固くなっており、客単価が前年比で10%低下している。	
	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・当社の前に倒産品などを扱う格安店が開店し、1月の開店当初からにぎわっている。商品の単価は数百円程度であり、客の間には品質や信頼よりも、価格さえ安ければよいという雰囲気がある。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は2日間ほど客のない日が続くなど、来客数が減少している。	
	タクシー会社（経営者）	お客様の様子	・例年は季節的に売上が落ち込んで、週末の金曜日は売上が見込めたが、今年は金曜日の売上也落ち込んでいる。街に活気がなく、人出も少ないほか、お金をあまり使わない節約傾向が目立っている。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・若干ではあるが受注量が上向いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近では受注量、販売量共に、やや良い状況が続いている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて売上が増えている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は前年に比べて動きが特に良いわけではないが、来月分の受注が好調で、受注残がかなり増えている。年度末が近づいているため、土地の動きも出てきている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・学習機の購入が例年よりも早くなっており、配達件数が増えている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・例年2月は売上が落ちるが、今年は前月並みの売上となっている。日数が少ない分、実質的には上回っており、折込チラシも不動産や自動車関係の動きが目立っている。
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・CMのスポット市況が底を打ち、上昇基調に変わった感がある。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前月に比べれば良いが、家庭向けの商品は売行きが販売価格に左右されている。依然として低価格帯での取引が中心であり、大手メーカーのような条件が出せない当社は販売量が少ない。
食料品製造業（経理担当）		それ以外	・例年よりも寒い日が続くなど、気候の変化が激しいため、売上が前年比で8%減少している。	

	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来の製品の注文量が減少し、新製品の注文も伸び悩むなど、産業の空洞化が進んでいる感がある。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼原料の値上がりで鋼材価格は上昇傾向にあるが、値上がり前の駆け込み需要もなく、荷動きが悪い。最近はい輸入製品が市場の中心となっている。
	金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・公共事業の受注が減ってきている。
	一般機械器具製造業（設計担当）	受注量や販売量の動き	・若干ではあるが、上昇傾向に変わりつつある。
	一般機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・受注量は増えているものの、もうからない仕事が増えているため、売上は横ばいである。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅関連は引き続き売上、利益共に前年を上回っており、大きな変化はない。価格の低下が進んだ学習機は高級品が売れず、売上は前年を下回っている。
	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・季節的要因で伸び悩んでいるほか、先行きの不透明感も依然として強い。
	その他製造業〔履物〕（団体職員）	取引先の様子	・受注量が増えてこない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・民間企業による工事の計画に延期や縮小がみられるほか、公共工事の発注量も減少傾向にある。
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・相変わらず1物件当たりの単価が低い。
	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・春節の影響もあるが、関西国際空港での中国からの輸入貨物の配達が減っている。
	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・前向きな引き合いがない。
	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・店頭での家庭用品の売行きは堅調であるが、原料の綿花やポリエステル価格が新興国の需要増や投機によって高騰している。生産の手配が困難であるため、品薄状態が続き、収益面で悪影響が出ている。
やや悪くなっている	繊維工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・低額品だけが動き、通常の商品が動かなくなっている。前年からの傾向であるが、一段と激しくなっている。原材料の絹糸価格が上がっているものの、販売価格に転嫁できない状態である。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	競争相手の様子	・今月に入って材料メーカーがよく来るようになったが、注文が少ないため生産がかなり落ち込んでいるとの声が多く聞かれる。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年に入って引き合いはあまり増えていない。問い合わせがあっても競争が激しいため、結果として荷動きが悪化している。
	化学工業（企画担当）	それ以外	・中東の政情不安によりナフサや原油の価格が上昇している。食油でも、大豆油の価格が前月の1.5倍に上昇し、収益率が低下している。一時は余剰傾向にあったバターも、オーストラリアの洪水などで価格が上昇傾向にある。
	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前よりも販売量が15%減少している。
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・家電エコポイント制度の変更により、特にAV商品の荷動きは鈍化傾向にある。
	電気機械器具製造業（企画担当）	競争相手の様子	・技術力の低下で営業活動が苦戦しており、受注の獲得が困難となっている。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の様子をみると、価格競争が激化している。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年2月は売上が悪化するものの、今年は前年比で80%程度と落ち込んでいる。取引先のショッピングセンターなどでは、セールが終わって春物商材の立ち上がる時期に入りつつあるが、春物の動きも良くない。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・顧客企業の業種や業界の動向により、受注量が大きく左右されている。
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・寒さの影響で春物衣料の立ち上がりや遅れ気味であり、春物衣料に関する販促広告などの作成依頼件数が少ない。

	悪く なっている	繊維工業（団体職員）	それ以外	・原材料価格の高騰が続いているが、販売価格への転嫁は一部にとどまっている。閑散期も重なり、非常に厳しい状況である。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・当地域からの企業の撤退に伴い、住民も出ていくため、住宅や事務所の賃料相場が下がっている。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	取引先の様子	・取引先からの発注条件が厳しくなっている。
雇用 関連	良く なっている	求人情報誌製作会社（企画担当）	求人数の動き	・求人件数の前年比が30～40%増で推移している。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・求人企業数、求人件数共に増え、この2年間で最高水準となっている。それに伴って面接件数も増えるなど、採用環境は上向いている。
	やや良く なっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・大きな案件はないものの、売り手市場に変わりつつある。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新年度に向けて企業からの求人数は増えているが、退職社員や契約終了の他社スタッフの補充要員としての求人が多い。ただし、テレマーケティング業務といった売上増に必要な業務については、増員を依頼する企業も増えつつある。
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・求人件数が前年の約2倍近くに増えており、過度な法規制がなければ過去の停滞を埋める勢いとなっている。ただし、規制の関係で求人内容を精査し、選別しなければならないため、成立件数はそれほど多くない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告の市況は良くなっていないものの、底打ち感が出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は一時的な要因で減少となったが、おおむね増加傾向が続いている。これまで増加傾向にあった建設業や製造業、サービス業では減少に転じた一方、金融・保険業や不動産業、教育・学習支援業では前年比で80%を超える大幅な増加となるなど、業種によって動きに差がある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が10か月連続で増えており、前年比で建設業、製造業、情報通信業、卸売・小売業、サービス業が増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年を11か月連続で上回っている。求人企業からは、以前と同じ条件では応募者があまり集まらないとの声も聞かれる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・人材紹介の依頼件数がやや増えている。
変わらない		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・依然として新規求職者数が多い状況であり、改善の兆しがみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は増加傾向にあり、特に製造派遣やビルメンテナンス業の求人が増えている。建設業では住宅版エコポイントの関係でリフォーム会社の求人意欲が高いものの、一時的な動きにとどまる。
		民間職業紹介機関（大学担当）	雇用形態の様子	・相変わらず新卒採用が低迷しているものの、中途採用には特定の職種で回復の兆しがみられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・学内の合同説明会に対する参加企業が増えるなど、大学への求人は少し増加傾向にあるものの、まだまだ予断を許さない。
	やや悪く なっている			
	悪く なっている	-	-	-